

第57回 北海道医学会市民公開シンポジウム

野球肘を正しく理解し予防する 成長期～トップアスリートまで

日 時

2022年10月29日(土) 13:00～15:00

参加
無料

Zoomによるオンライン開催 完全事前申込制

申込
期限

2022年
10月1日(土)～24日(月) 24:00

※下記URLまたは右記二次元コードから登録を行ってください。
ご登録後に返信メールにて受講方法をご連絡いたします。

<https://forms.gle/HtFSsc5xLxJkgoab8>



【講演】

第一部

座長：北海道大学病院スポーツ医学診療センター 教授 近藤 英司

野球肘の基礎知識 (20分)

北海道大学病院スポーツ医学診療センター 助教 門間 太輔

小～中学生の野球肘予防 (15分)

北海道大学病院 整形外科 医員

松居 祐樹

小～中学生のためのトレーニング (15分)

松田整形外科記念病院 理学療法士

吉野 広一郎

～・・・～ 休憩 (10分) ～・・・～

第二部

座長：八雲総合病院 整形外科 横田 正司

高校生～ハイレベルアスリートの野球肘予防 (15分)

北海道大学病院 整形外科 医員

沼口 京介

高校生～ハイレベルアスリートのためのトレーニング (15分)

東海大学札幌キャンパス硬式野球部 トレーナー

大日向 純

プロ野球選手に対する肘のケア (20分)

北海道日本ハムファイターズ トレーナー

梅津 祐輔

<問い合わせ先>

北海道医学会事務局

札幌市北区北15条西7丁目北海道大学医学部百年記念館内

Tel : 011-706-5007(直通) 5007(学内) E-mail : digakkai@med.hokudai.ac.jp

野球肘を正しく理解し予防するー成長期～トップアスリートまでー

北海道医学会会長 畠 山 鎮 次

北海道大学大学院医学研究院長・医学部長

北海道医学会は、医学の進歩に寄与することを目的として大正12年に発足した北海道の医師、医学研究者の集まりです。

本会では毎年この時期に市民公開シンポジウムを開催しておりますが、本年は「野球肘を正しく理解し予防するー成長期～トップアスリートまでー」をテーマとして開催することになりました。

小中高生からハイレベルアスリートの野球選手で肘が痛いと言われますが、野球肘の症状にもたくさんの種類があります。そして、その予防法も小・中学校生などの成長期、高校生からハイレベルアスリートなどの成人期選手の年齢や状態によって様々です。

皆様方には野球肘を正しく理解していただくことにより、予防に繋がっていただきたいと考え、このシンポジウムを企画致しました。

講演内容

1. 野球肘の基礎知識 ・・・門間 太輔先生
よく耳にする野球肘ですが実は色々な症状があり、その予防方法は選手の年齢や状態によって様々です。講演をとおして野球肘を正しく理解し予防することに繋がっていただき、今後も野球を続けて行くためのトレーニングについてもわかりやすく紹介します。
2. 小～中学生の野球肘予防 ・・・松居 祐樹先生
小中学生の「野球肘」は、大人とは違う特徴があります。また、小中学生の野球肘は早期発見、早期治療が重要です。小中学生の野球肘についての説明と、その予防について解説します。
3. 小～中学生のためのトレーニング ・・・吉野 広一郎先生
小～中学生などの成長期における「野球肘」について正しく理解し、どのように予防して、どのようにパフォーマンスアップに繋がっていかなどを解説します。
4. 高校生～ハイレベルアスリートの野球肘予防 ・・・沼口 京介先生
成人期に発症しやすい投球肘障害の病態・症状と治療・予防について講演、討論します。
5. 高校生～ハイレベルアスリートのためのトレーニング ・・・大日向 純先生
全国大会に出場するレベルの大学野球選手に対するトレーニングをパフォーマンスに直結するためにどうするかという視点で解説します。
6. プロ野球選手に対する肘のケア ・・・梅津 祐輔先生
北海道日本ハムファイターズにおいてプロ野球選手に対して行っている野球肘予防のケアとパフォーマンス向上についての取り組みについて紹介します。